

航空輸送サービスに係る情報公開（平成17年4～6月）のポイント

以下の各項目のデータは特定本邦航空運送事業者 の情報を取りまとめたものです。

日本航空(日本航空ジャパン、日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エアニッポン、エアネクスト、エアニッポンネットワーク及びエアセントラルを含む)、日本トランスオーション航空、ジャルエクスプレス、スカイマークエアラインズ、北海道国際航空及びスカイネットアジア航空

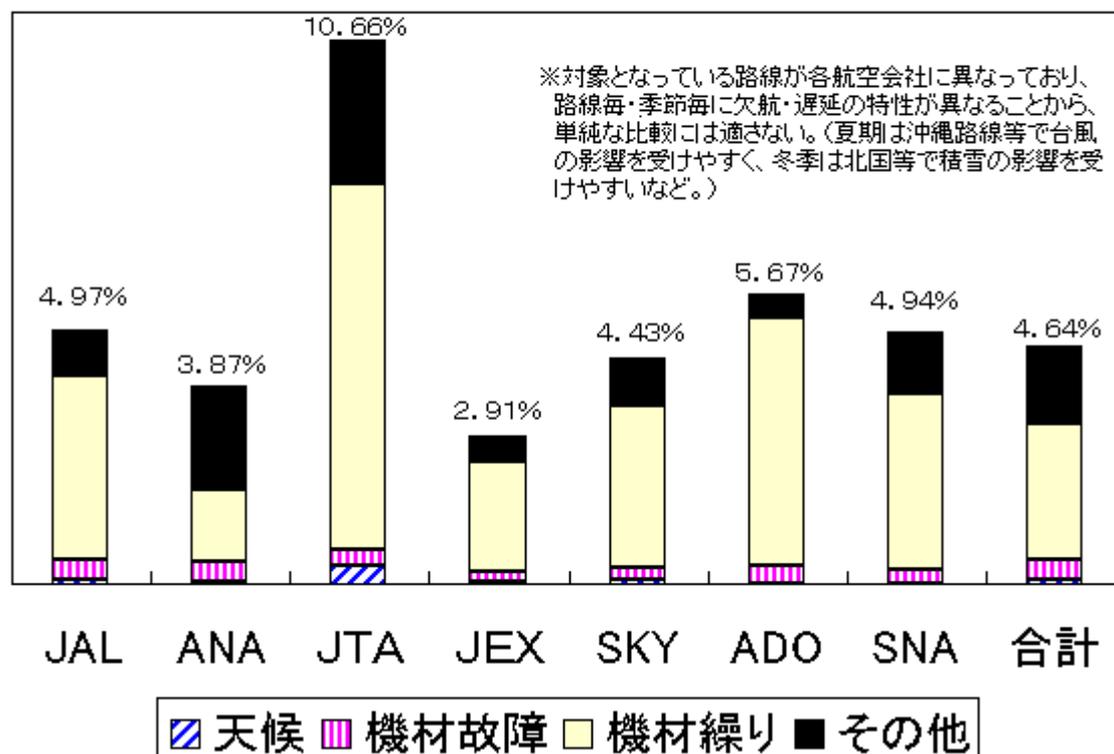
1. 航空輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率（平成17年4～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
4.64%	4.01%	0.63ポイント増加

備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。

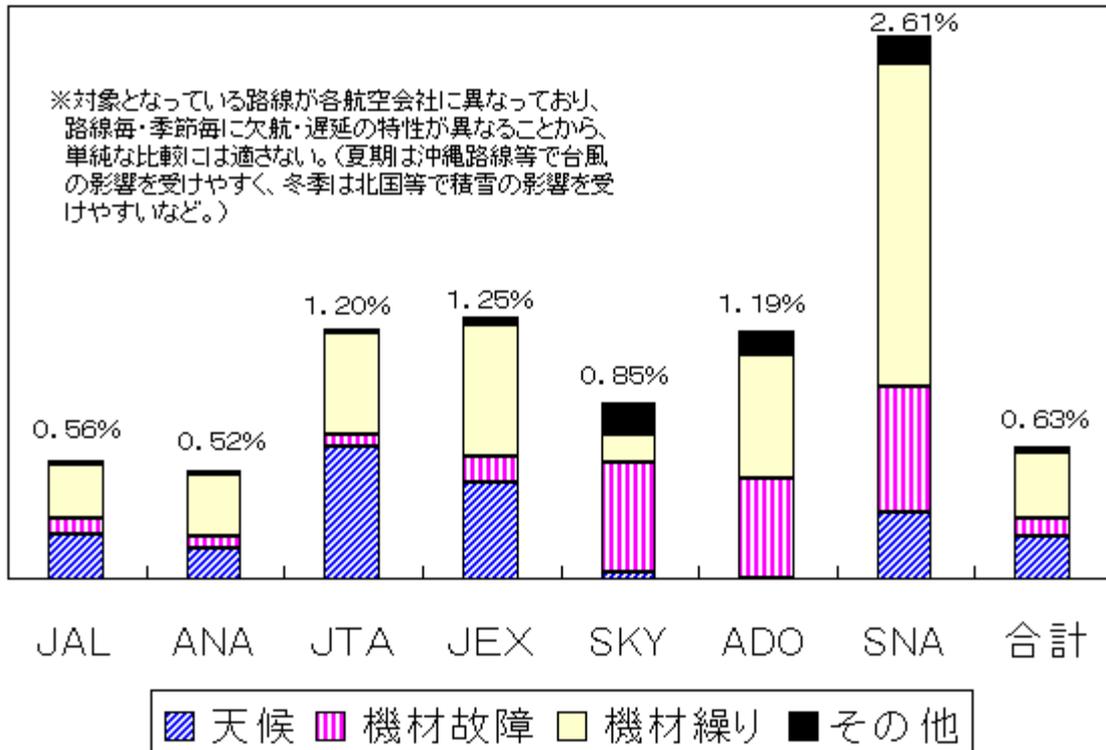
遅延率（平成17年4～6月）



(2) 欠航率 (平成 1 7 年 4 ~ 6 月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0 . 6 3 %	0 . 7 8 %	0 . 1 5 ポイント減少

欠航率 (平成 1 7 年 4 ~ 6 月)



2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績 (平成17年4～6月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	885 Km	879 km	0.7%増
輸送人員	2195万3313人	2157万3455人	1.8%増
輸送人キ口	194億3267万人キ口	189億7090万人キ口	2.4%増
旅客収入	3102億94百万円	3000億76百万円	3.4%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.1千円	13.9千円	1.6%増
輸送人キ口あたり 旅客収入	16.0円	15.8円	0.9%増

(2) 路線別データ (平成17年4～6月)

旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京 - 札幌	208万4104人
2位	東京 - 福岡	192万1391人
3位	東京 - 大阪	162万4285人
4位	東京 - 那覇	106万9221人
5位	東京 - 広島	56万1947人
全路線		2193万5001人

利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	那覇 - 岡山	83.2%
2位	那覇 - 小松	80.7%
3位	札幌 - 那覇	80.7%
4位	大阪 - 札幌	80.6%
5位	広島 - 那覇	79.2%
全路線		61.1%

下位5路線は次のとおり。

1位	札幌 - 庄内	29.2%
2位	札幌 - 中標津	31.4%
3位	福島 - 福岡	34.7%
4位	札幌 - 三沢	35.6%
5位	高知 - 宮崎	37.4%
全路線		61.1%

3.フレックストラベラー制度に関する情報

平成17年4～6月のフレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合（1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
	全日本空輸	0.41人	0.34人
	北海道国際航空	0.12人	0.00人
	日本トランスオーシャン航空	0.05人	0.00人
	全社平均	0.22人	0.18人